

## 行財政構造改革のこれまでの実績について

令和 2 年 6 月 行財政改革推進室

## 1 改革の主な目標と進捗・実績（当初予算ベース）

【改革期間】平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）

改革の主な目標	進捗・実績
収支均衡した持続可能な財政構造への転換（令和 3 年度末）	歳入と歳出のギャップは、着実に縮小 （H29：▲116 億円 ⇒ R 2：▲10 億円）
財源調整用基金の残高を 100 億円以上に回復（改革期間中）	財源調整用基金の残高は、着実に増加し、 令和 2 年度末残高は、100 億円を上回る 額を確保する見込みを立てていたところ （H29：71 億円 ⇒ R 2：111 億円）

〈年度推移〉

（単位 億円）

区 分	H29年度	H30年度	R 元年度	R 2 年度
財源不足見込額 a	▲192	▲263	▲292	▲276
改革の取組効果額 b	153	270	310	291
うち臨時的・集中的な財源確保対策 c	77	64	56	25
収支（実質ベース） a + b	▲39	7	18	15
臨時的・集中的な財源確保対策除き a + b - c	▲116	▲57	▲38	▲10
基金残高見込	71	78	96	111

## 2 取組効果額（決算ベース）

（単位 億円）

取組項目	H29年度	H30年度
<b>I 歳出構造改革</b>	<b>79</b>	<b>173</b>
(1) 総人件費の縮減	18	44
(2) 事務事業の見直し	7	12
(3) 公共投資等の適正化	3	7
(4) 公債費の平準化	51	110
(5) 公の施設の見直し	0	0
<b>II 臨時的・集中的な財源確保対策</b>	<b>85</b>	<b>58</b>
執行段階での節減等（前年度剰余金等）	—	37
合 計	164	268

## 《参考》 各取組の実績（H29、30決算ベース合計）

### I 歳出構造改革

- (1) 総人件費の縮減 …………… 取組効果額 6,249百万円
  - ◇ 定員削減 ▲365人（～H30：一般行政、教育、警察（一般職員））
  - ◇ 給与水準の見直し（給与制度の総合的見直し、時間外勤務手当の縮減 等）
- (2) 事務事業の見直し …………… 取組効果額 1,934百万円  
「全事業の見直し」の実施（全事業の約7割となる888事業を見直し） 等
- (3) 公共投資等の適正化 …………… 取組効果額 1,011百万円  
国予算等の伸び率から地方負担ベースで年2%（H29～30：4%）抑制 等
- (4) 公債費の平準化 …………… 取組効果額 16,072百万円  
30年債の導入を推進
- (5) 公の施設の見直し（令和元年度までの見直し公表施設）
  - ◇ 市への移管（1施設）  
おのだサッカー交流公園（R2年度末に市移管）
  - ◇ 運営手法の見直し（189施設）
    - ・ 指定管理者制度の導入  
山口きらら博記念公園（H31.4～）、身体障害者福祉センター（H31.4～）
    - ・ ネーミングライツの導入  
維新百年記念公園（陸上競技場：H30.1～、スポーツ文化センター：H31.4～、テニスコート：募集中）  
きらら浜自然観察公園（H31.4～）  
山口きらら博記念公園（多目的ドーム：R2.4～、水泳プール：募集中）
    - ・ 母子・父子福祉センターの総合保健会館への移転（R3.4～）
    - ・ 健康プラザ（健康づくりセンター）の多目的スペースへの用途変更（R3.4～）
    - ・ 経費節減・業務効率化等（大島防災センター、セミナーパーク、しごとセンター等）

### II 臨時的・集中的な財源確保対策

- (1) 保有基金の取崩し …………… 取組効果額 7,092百万円  
市町振興基金 7,000百万円、土地取得基金 92百万円
- (2) 保有財産等の活用 …………… 取組効果額 3,245百万円  
やまぐち産業振興財団基金の活用、特別会計余剰金の繰入、企業会計からの繰入 等
- (3) 未利用財産等の売却・貸付 …… 取組効果額 2,159百万円
- (4) 県税収入等の確保 …………… 取組効果額 552百万円  
個人県民税の徴収対策強化、税外未収金対策の強化、ふるさと納税の確保・増収 等
- (5) その他の財源補てん …………… 取組効果額 1,201百万円  
物件費の執行留保（当初予算対比：▲10%）